

石川県内経済情勢

令和5年1月
財務省北陸財務局

県内経済は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

(注) 5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：緩やかに持ち直している

百貨店・スーパー販売

衣料品や飲食料品に動きがみられることから、緩やかに持ち直している。

コンビニエンスストア販売

米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることから、順調となっている。

ホームセンター販売

日用品等の動きが鈍いことから、弱含んでいる。

家電大型専門店販売

パソコンに動きがみられるものの、暖房器具等の動きが鈍いことから、横ばいの状況にある。

新車販売台数

普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

主要観光地の来訪客数

前年を上回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を上回っている。

設備投資：4年度は減少見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（4年10-12月期調査））

製造業は減少見込み、非製造業は増加見込みとなっている。

住宅建設：弱含んでいる。

新設住宅着工戸数

弱含んでいる。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：回復に向けた動きに一服感がみられる。

電気機械

スマートフォン向けを中心に弱い動きとなっている。

汎用・生産用・業務用機械

繊維機械が拡大しているほか、金属加工機械が増加していることなどから、全体では拡大しつつある。

繊維

衣料向け、非衣料向けともに緩やかに持ち直しつつある。

化学

大宗を占める医薬品が拡大している。

企業収益：4年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（4年10－12月期調査））

製造業は減益見込み、非製造業は増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業は増益見込み、中小企業は減益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「上昇」超となっている。（法人企業景気予測調査（4年10－12月期調査））

現状判断（4年10－12月期）は、製造業は「上昇」超となっており、非製造業は「上昇」と「下降」が均衡している。なお、先行きは、全産業では5年1－3月期は「下降」超、5年4－6月期は「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

緩やかに低下しているものの、求人は底堅く推移している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

負債総額は前年を下回っているものの、件数は前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858